

ひがしゆり

HIGASHIYURI

 **東由利町**
1999 **9**
NO.534

祝 ご成人おめでとうございます



'99 夏に集う

～広報カメラが会った人々 平成11年度成人式



下郷中学校30周年記念の会 ～ボツメキ水源



新町鹿島神社祭典

二期目を迎え 意気込み新た

町づくりの四本柱 一層の充実を

任期満了に伴う東由利町長選が七月二十七日に告示されましたが、立候補の届け出が阿部幸悦町長一人だったため、無投票で同氏の三選が決まり

ました。

再選された阿部町長は、八月二日、町職員らに拍手で迎えられ役場に登庁。その後、役場二階会議室で全職員を前にあいさつしました。

この中で阿部町長は三期目にあたり、初めて経験した無競争の町長選挙を振り返りながら「新しい四年間は経済力を中心に終戦後ゼロから始まった仕組みが新しくなる時期でもあり、この時期に三期目を迎えるということで大変緊張している」と現在の心境を述べた後、

「由利本荘広域化が進む中、一市九町と協力しながら新たなものを作り出す意欲で行政に携わりたい。また職員の力を借りながら町民が幸せにすごせる町を作りたい」と三期目に向けた意気込みを述べました。



▲町職員らに迎えられて登庁



▲選挙管理委員長から当選証書を受け取る



▲職員を前にあいさつをする阿部町長

第七回議会臨時会

八月五日招集

第七回議会臨時会が八月五日に招集され、一般会計補正予算など二議案を原案どおり可決しました。内容は次のとおり。

■議案第一号 平成十一年度東由利町一般会計補正予算（第二号）五千百万五千円を減額し、歳入歳出の総額を四十三億四千七百四十三万三千円としたもの。

■議案第二号 多目的研修集会所施設に関する条例の一部を改正する条例

第八回議会臨時会

八月二十日招集

第八回議会臨時会が八月二十日に招集され、中山間地域総合整備事業工事請負契約の締結など二議案を原案どおり可決しました。内容は次のとおり。

■議案第一号 中山間地域総合整備事業第〇四三〇一号工事請負契約の締結について▼活性化施設建設工事契約として一億百八十五万円で佐藤組と契約締結。

■議案第二号 山村振興等農林漁業特別対策事業高齢者活動・生活支援促進機械施設建設工事請負契約の締結について▼同工事契約として六千九百八十二万五千円で大沼組と契約締結。



町長日記

新しい任期をむかえて

八月二十日から新しい任期が始まりました。新しい任期については八月一日の町長選挙において無投票で四年間の更なる時間をいただいたことです。「明るく元氣の出る町」東由利をと一生懸命にやって参ります。ますますのご支援ご指導を心からお願い申し上げます。

さて新しい任期の四年間は二十一世紀にかけての時間になります。かなりの緊張を強いられることになるかと覚悟を新たにしているところであります。

時代の大きな流れというものがある。ものが個々では抗しがたくある訳です。ご承知のように二十一世紀は少子高齢化の時代になり、ますます情報化、国際化が進んでいくだろうといわれます。国の仕組みも地方の有様も大きく変わって行くだろうといわれます。

行政の仕組みも勿論であります。東由利町といえども例外ではなく、この大きな動きに積極的に取り組んでいかなければなりません。

地方分権整備法も成立いたしました。これは国と地方がそれぞれの役割を分担しながら対等の立場で国をそして地域を作っていくというものであります。総論としては何人もこの考えに反対するものはありません。しかし各論になりますと、財源の問題ははじめさまざまな議論がまだ整理されておらず、これから大きな議論が始まることです。

究極の方向が町村合併に収斂されていくことも視野に入れて、議論に参加していかねばならない場面

も出てくるかも知れません。しつかりと東由利町を作り上げるためにも、真剣な議論をしていかなければならないと覚悟をしているところです。

これから取り組む大きな課題の一つとして、行政の拠点にもなる役場庁舎の改築が現実化してきます。

行政の拠点として、また議論の府として議場の役割を果たすことを重視しながら、議会の皆さんともよく議論しつつ、仰ぎ見るような庁舎ではなく機能重視の施設を考えております。

定住人口に活力をもらうためにも国道一〇七号を通り過ぎて行く車をはじめ交流人口の流入施策を取ってきただけですが、八塩いこいの森などハードの整備も大体的にメドがつかしました。これからはこれらを最大限活用するソフト事業に力を入れていかなければなりません。これも大きな課題のひとつであり、また楽しみでもあります。

地方分権がどういう手順で現実化していくかはまだ

未知数の部分が多いところですが、来年からの介護保険をはじめ由利本荘の広域事業化がますます進行するものと考えます。「明るく元氣の出る町」東由利の充実のためにも由利本荘一市十町力を合わせなければならぬことも多くなります。適切な判断をしなければなりません。

いつも申し上げております町作りの四本柱は町の永遠の課題でもあり、なお一層の充実を図っていくことは勿論のことです。

いつも課題のない時はないのですが、新しい任期のこの四年間は特に大きな課題が集中する時になると緊張しております。健康にも気をつけながらこのさまざまな課題に一生懸命取り組んで参ります。

ますますわが町が「明るく元氣の出る町」になれましようになお一層のご指導ご支援を心からお願いを申し上げます。新しい任期が始まるに当たってのご挨拶といたします。

献血ありがとうございます

8/26

◆秋田ルビコン◆

■四〇〇cc 伊東ユミ子(館西) 高橋由喜江(五海保) 遠藤由美子(小倉) 小松五緒子(五海保) 堀川芳秀(本荘市) 小野弘喜(上里) 遠藤幸子(小倉) 吉田幸実(十文字町) 佐々木誠(十文字町)

■二〇〇cc 大日向睦子(宮ノ前) 佐藤恵理子(本荘市) 杉野文子(横渡) 小松久仁恵(家ノ下) 阿部志保子(十二ノ前) 佐々木幸子(大琴) 佐々木博子(雄物川町) 原田直美(羽後町) 石渡ふみ子(岩館) 畑山千江子(館合新田) 畑山豊隆(下小路)

◆本荘高校下郷分校◆

■二〇〇cc 古関郁実(横小路) 小松誠(板戸) 小野昭枝(下通) 遠藤良恵(新町) 大庭秀樹(大琴) 佐藤敬幸(黒瀬) 畠山良子(寺田) 遠藤洋昌(桂台) 遠藤吉治(蔵) 小野大輔(祝沢) 遠藤友和(五海保) 齊藤芳徳(本荘市) 畠山洋幸(石高)

◆東由利町役場◆

■四〇〇cc 佐々木信幸(大琴) 小松雄一(松柴) 鈴木政也(袖山) 鈴木政雄(袖山) 遠藤哲也(館西) 小松信記(蔵) 高橋重保(館合新田) 佐藤和広(蔵) 遠藤克幸(蔵新田) 佐藤公男(智者鶴) 猪股寿和(本荘市) 小松健(湯出野) 小松喜恒(下通)

■二〇〇cc 畠山秋(袖山) 高橋孝紀(新町) 阿部弘章(蔵) 工藤恵(中ノ沢) 小野信子(上里) 嶽石文弥(五海保) 小松和子(山崎) 高橋一心(五海保) 小松達也(船木) 佐藤和子(向田)

大人としてのスタートライン

平成11年度 成人式

八月十五日、有鄰館において平成十一年度成人式が行われました。当日は晴れて大人の仲間入りをした新成人七十八人のうち、六十二人が気持ちも新たに出席、成人式を無事迎えられたことに感謝すると同時に、大人として積極的に地域および社会にかかわる姿勢を誓い合っていました。

式ではまず新成人一人一人が点呼された後、新成人を代表して、柿崎大さん（下通）に成人証書、畠山真由子さん（地下ノ沢）に記念品が阿部幸悦町長からおくられました。

式辞で阿部町長が「二十一世紀は大変な時代になる。世界の日本の姿を常に意識し、頑張ってほしい」と若者たちの前途を祝しました。また、阿部副議長、小松順之助教育委員長が祝辞をそれぞれ述べました。引き続き今野和人さん（新町）が成人を迎えて新たな旅立ちにあたり、新成人を代表して誓いの言葉を力強く述べました。

式典後、菅原良治さん（八日町）、千葉久美子さん（中ノ沢）が意見を発表しました。

式後は久しぶりに再会した仲間たちとしばし歓談にふけていました。

誓いのことば

私たちが誕生してから、早くも二十年という年月が流れました。本日この東由利町で同期たちと成人式を迎えられますことを大変喜ばしく思います。

今日この日を迎え、大人の道に一步踏み出す訳であります。生まれてから今日まで育ててくれた両親や地域の方々、小・中・高校時の諸先生方に対して感謝いたしております。

さて、私たちもようやく成人として歩み始めました次第ですが、成長するに従って「責任感」という言葉が感じられてきます。やはり、自らの言動に責任を感じないようでは、周囲の方々が自分を大人として扱ってはくれないのではないのでしょうか。他の方々に認められてもらえるには責任のある生活を送らなければならぬと思われ



今野和人さん

送らなければならぬと思われ。そして、その責任ある生活とは、まず他人を思いやる心などから生まれるものだと思います。

私たちはこのことを心に思い、社会のため、この町のためになるようなことを行わなければならないと思います。

どのような事でも良いでしょうが、不平不満を口にするより先に、小さなことからこつこつとまず一步を自らが進んで示すように心がけ、自分自身を確立してゆかなければいけないと思います。

私たちは今、大人の道への分岐点にいるわけですが、自分たちが学生の頃に学んだこと、今学びつつあることを、不景気だといわれている今、この社会に活かしながら、一步一步前進しつつ、私たちの先輩にならいこの町の発展に加わるように日々努力していきたいと思ひます。

今日この日のことを生涯忘れず、社会の大きな壁にぶつかったとしても進み続けていこうと思ひます。

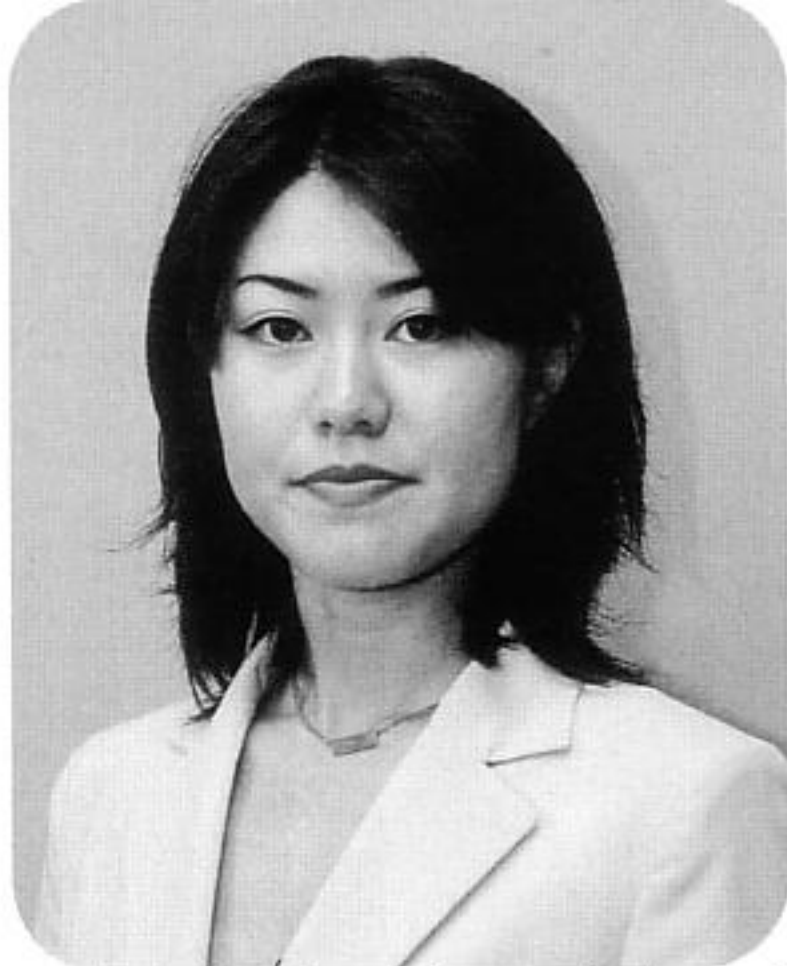
成人写真集



▲成人証書を受け取る柿崎大さん



▲記念品を受け取る畠山真由子さん



成人式を迎えて 千葉久美子さん

意見発表から

発表内容
一部抜粋

これから 生きる者として 菅原良治さん



今日八月十五日、私たちは成人式を迎えることとなり、この日をたくさんの方々と祝うことができてもうれしく思っています。

私たちはこれから生きていく人間です。形にとらわれずいろいろな道があります。一人一人それぞれの道を求め、少しずつ前進していくのです。私たちは残念ながら過去を振り返ることはできませんが、過去は選ぶことができません。私たちの生き方は、自分の手の中にあるはずで、目の前の道を切り開くには、まず今を全力で生きること、常に何かを考えていること、広い視野で物事を見ること、そうすれば自分の通るいろんな道に出会うことができると思います。

私たちが生まれ成長してきた二十一年間で東由利町も随分と変わってきました。最近のことでは町民プール、道の駅などの完成を始めとし、国道も新しくなり、トンネル工事も進められています。それに伴い、車の出入りの簡便化により他の町の方々と交流も増えてきました。

このように町自体が活発化していく中で私たちは成人を迎えたわけですが、本当に成人するとはどのようなことでしょうか。私自身も本当に成人するのかというのが本音です。

未成年と成人の違い・・・というのは、一言では説明しにくいのですが、第一には何かにサインが必要なのに親などの名前を借用しなくても済むことでしょうか。これからは何

今まで、みなさんはどのように生きてきたかはよく分かりませんが、楽しいこと、辛いこと、たくさんあったと思います。これから先、もっといろいろなことがたくさんあるはずで、私たちはまだたくさん人の時間があり、それ乗り越えていく力もあります。私たちはこれからの人間なのです。

今、何かをしようと悩んだり迷ったりしている人は、自分の思うように進んでください。もしそれが失敗してもいいと思います。その失敗は経験として、自分のものとなっていくはずで、ある意味ではすごい財産だと思います。何事も挑戦してみなければ分からないことがたくさんあるのです。

か問題を起こしても自分一人の責任でもって解決しなければならぬことです。今までのように他人の生活や言動に期待し、左右されるのではなく、自分自身の言動に期待されるということなのです。

ですから、私は成人を迎えるにあたり、まず始めにわが町を大切にしようと思えます。他の市町村の方々に「東由利ってどんなところ？」と尋ねられた時に「東由利はとても素晴らしい町だよ」と答えられるようになりたいと思います。

今までは自分に環境があつていないとか、遊ぶ場所がないなどという考えから「面白くない町だよ」と答えてしまっていたのですが、これからは視点を一八〇度変え、もっと

自分は、今まで生きてきて何事にも挑戦するということが欠けていました。そして後からあの時にやっておけばよかったと思うことがたくさんありました。後悔をたくさんしてきました。成人式を迎えこれから長い間生きていくためには自分自身に自信をもつて、自分を信じて、人とは違うそれぞれの道で全力で頑張りたいと思います。

今を楽しみ、これから楽しく、責任を持ち、個性を持ち、すてきなこれからのために、かすかでも確実に前進すること。大切なのは前に出る姿勢ということ。このことをいつも考え、一日一日を大切に、仲間たちに、親に、東由利で生まれたことに感謝して生きていこうと思います。

未来を見つめた考えをしたいです。これから五年、十年後、私たちやこの東由利町はどの様に変化しているのでしょうか。その行先を決める権利は私たち成人に与えられているのです。つまり選挙権ですが、私たちの考え方が十分ではないにしろ、政治というものに反映されるのです。それを思うと、私たち成人には責任があるのだなと、思います。

よって私は進んで町内の行事やその他の催しに参加してみたいと思います。色々なことに興味を持ち、参加して、成功を・・・もし失敗したとしても、次こそは、という思いで何かをなした時の喜びを忘れない、そういう人間になりたいと思います。



▲久しぶりの仲間たちと



▲大人としてのスタートラインに立った若人たち

後世に託す

戦争の記憶



▲戦没者の御霊に献花した



▲戦没者追悼之標柱

町戦没者追悼式

八月十八日、有鄰館で戦没者追悼式が行われました。この追悼式は日清戦争以後、町出身戦死病没者三百十二柱の御霊に祈りを捧げるべく毎年行われているものです。

式には遺族など関係者九十余名が出席、戦没者の御霊に献花を捧げるとともに、戦没者の安らかな眠りと、平和への願いを誓い合いました。

午前十時に始まった式典では、臨席者による「君が代」斉唱のあと、阿部幸悦町長が町の現状と行政施策の報告を行うとともに「二十一世紀を目前にむかえ、戦争放棄と平和のため、遺族の方々とともに尽力したい」と平和への誓いを新たに戦没者へ追悼の式辞を述べました。

続いて、式場正面に置かれた戦没者追悼之標柱を前に、戦没者の御霊に一分間の黙祷が捧げられる中、八月十五日の全国戦没者追悼式での天皇陛下のおこしとが会場内に流されました。



▲隣席者を代表して追悼の式辞を述べる阿部町長

その後、由利福祉事務所長、阿部議会議員、市郡連合遺族会長、玉米地区遺族会代表からそれぞれ追悼のことが捧げられ、午前十一時前、御霊を癒す瞑想曲が静かに流れる中、隣席者全員が戦没者の御霊に献花しました。

最後に下郷地区遺族会長による謝辞があり、おごそかな中で式が静かに閉じられました。

平和への誓い新た

南半球で海外研修を

生の文化に触れ、体験を通じて海外を、そして日本の姿を知ろうと毎年行われている町海外研修。今年も昨年に引き続きオーストラリアが研修先です。

昨年度まで大内町、南外村と合同で行われていましたが、今年新たに千畑町が加わり三町一村の研修になります。

■実施時期 十一月十七日(水)～二十三日(火)

■資格 町に居住して、満二十歳以上五十歳未満の人など

■締切 九月十七日(金)まで
教育委員会生涯学習課(六六九-二三二)へ

保健所からのお願い

心の悩みを誰かに伝えてわかってほしい。

この度本荘保健所では、町民の皆さん方がいろいろな事で悩み、なかなか相談もできずに困っておられる心の悩み事をお手紙でお寄せいただきたいと思います。

住所氏名は書かなくても結構です。誰かに伝えてわかってあげたい心は落ち着くものです。

本荘市出戸水林四〇八 本荘保健所長 廣田までお手紙を。

9月1日は
防災の日

固定方法は、
家具や壁の種類によって工夫しましょう。

家具が凶器に変わる日

家が無事でも食器棚やテレビ、冷蔵庫が命取り

安全スペース確保第一

地震の備えが命を守る

阪神・淡路大震災で震度七を記録した地域では、住宅の全半壊をまねがれたものの、全体の約六割の家で家具が転倒し、部屋全体に散乱したというデータがあります。

家具を固定して安全スペースを確保すると同時に、心がけたのは次のようなこと。日ごろの備えが、いざというときのあなたの命を救います。

●防災訓練への参加
友人で誘い合ったり家族で参加したりして自信を深める。

しかも、食器棚などは扉が開いて中の食器類が散乱したほか、冷蔵庫やピアノは移動してしまい、テレビや電子レンジが飛ぶという、日常では考えられないことも確認されています。

●非常持出品の準備
食料品や電池など期限のあるものは「防災の日」などに点検し交換しておく。

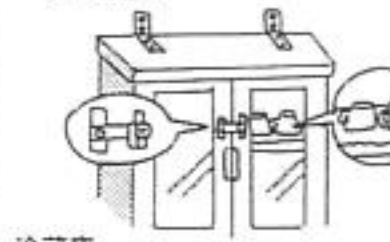
建物が無事でも、転倒した家具の下敷きになってケガをした

り、室内が散乱状態のため火災から逃げ遅れたりしてしまうなど、居住者の被害も大きくなるのです。

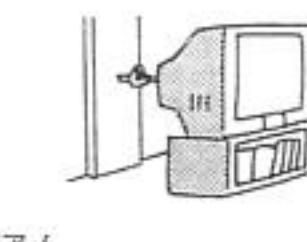
無事に避難するためには、まず室内に安全スペースを確保することが第一です。そのためにも家具を固定するようにしましょう。

●非常持出品の準備
食料品や電池など期限のあるものは「防災の日」などに点検し交換しておく。

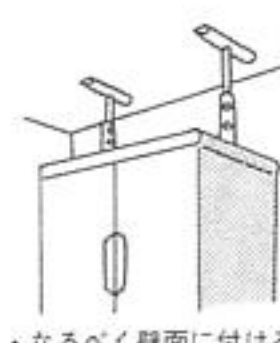
食器棚
・壁や柱にL字金具で固定
・開き戸には止め金具を付ける
・中の食器は滑り止めにタオルなどを敷く



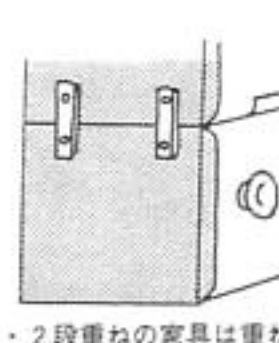
テレビ
・なるべく低い位置に
・金魚鉢・花瓶などは置かない



タンス・本棚

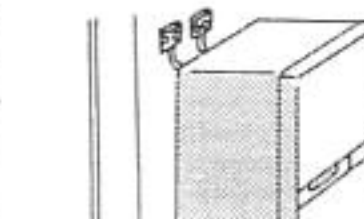


・なるべく壁面に付ける
・壁に固定できない場合は、支え棒で固定

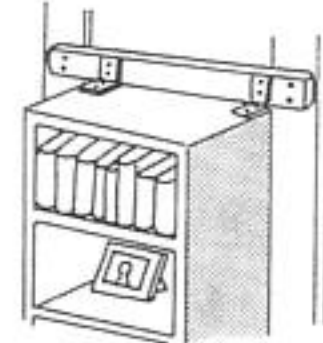


・2段重ねの家具は重ねた境の側面を、並行金具で連結

冷蔵庫
・専用の転倒防止金具もある



ピアノ
・専用の転倒防止金具を付ける
・厚めのじゅうたんを敷く



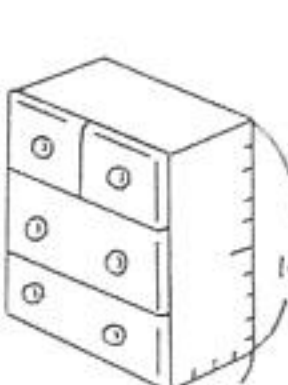
・柱や壁の中の間柱にL字金具で固定
・横木を渡してもよい



・前のめりに倒れてくるので前のほうに板を入れ、壁に寄りかからせる



・重い物は下に、軽い物は上になるべく空間をつくらない。すき間はブックエンドで固定



・ノッポ家具は倒れやすい
・安定した家具
高さ：奥行き＝10:4以上

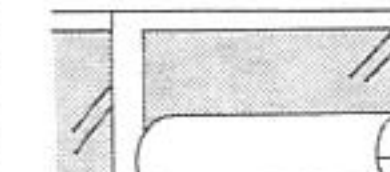
照明器具
・天井や壁に直接取り付けタイプの物が安全
・チェーンで天井に3点で固定



額縁
・額やひもで固定
・ガラス面には飛散防止用フィルムを貼る



ガラス窓
・ガラス飛散防止用フィルムや粘着テープを張る
・夜はカーテンを引いて寝る



■備えておきたい最小限の持出品
ほかの物は避難して安全が確認できれば、取りに戻ることも可能。

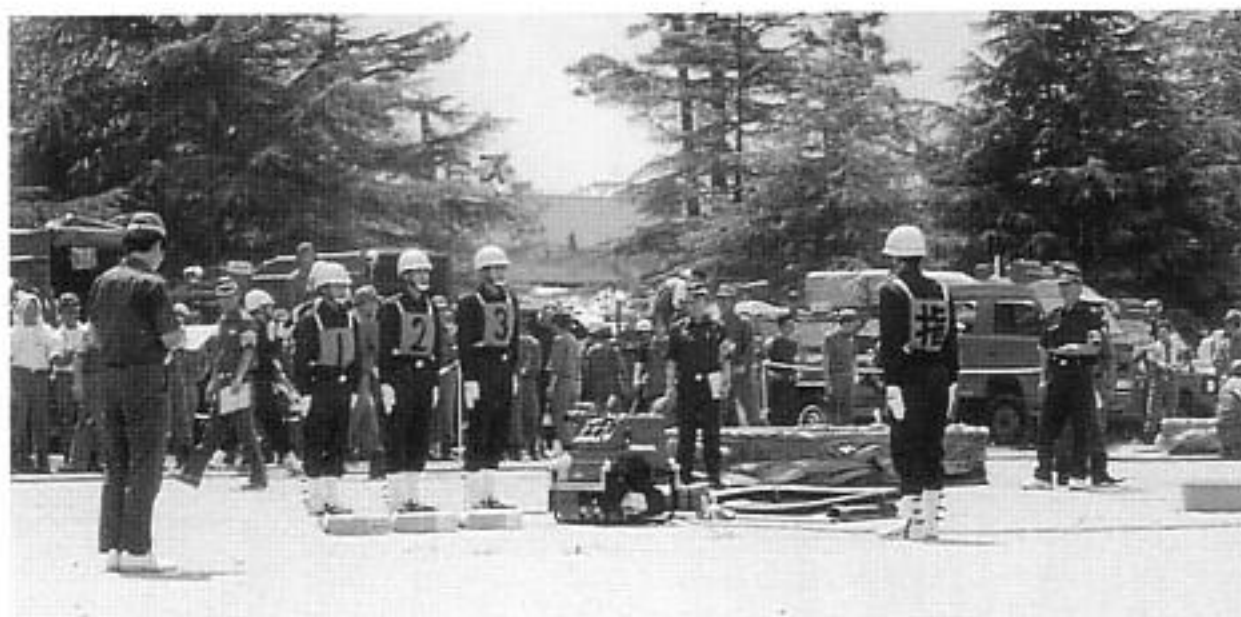
猛暑の中で奮闘

郡消防訓練大会
八月七日、県消防協会本荘市由利郡支部消防訓練大会が、本荘市松濤公園グラウンドで行われました。

本町からは町消防訓練大会で優勝した各分団が参加、各町から選りすぐられた消防団を相手に猛暑の中、熱気あふれた競技を展開しました。

競技の結果、町関係の成績は次のとおりです。

【総合】 八位
【規律訓練】 八位
【ポンプ車操法】 三位
【小型ポンプ操法】 九位



▲熱気あふれた競技を展開した

介護保険情報

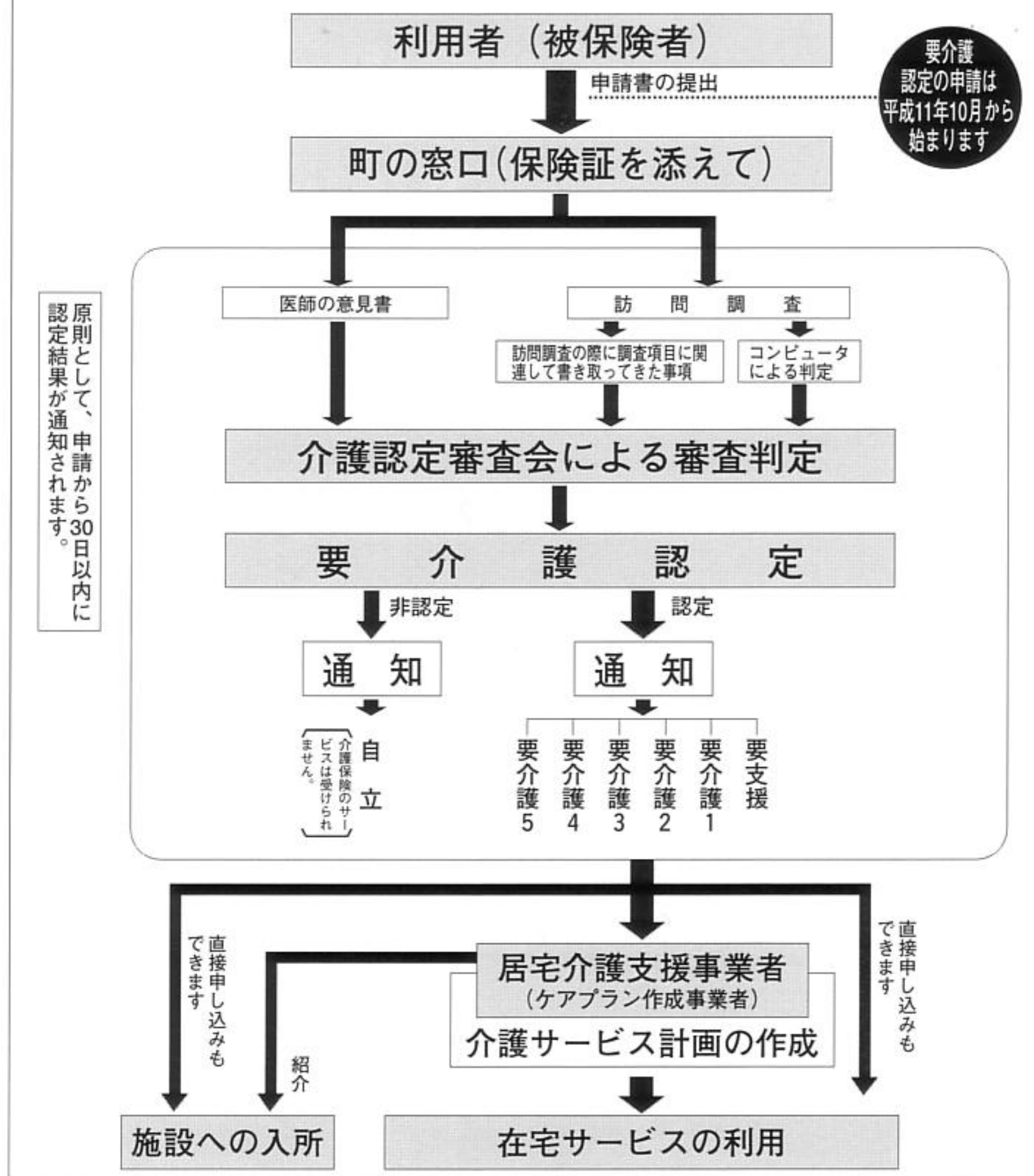
第二回 利用時の手続き

要介護認定が必要で、
要介護度によって、
サービス状況等が変わります

介護保険からサービスを受けるためには、寝たきりや痴呆などサービスを受けられる状態かどうかの認定（要介護認定）を受けることが必要です。町に申請すると原則として三十日以内に結果が通知されます。

要介護認定では、寝たきりや痴呆など介護が必要な状態かどうかだけでなく、介護の手のかかり具合（要介護度）も判定します。要介護度により在宅サービスを受けられる額や施設に入った場合のサービスが異なります。

要介護認定の申請は平成11年10月から始まります



全国的に公平な認定ができるように工夫しています

- ①コンピュータ判定をもとに、全国共通の例に照らし「審査判定」を行います
- ②訪問審査の方法のマニュアルを作り、調査員の研修を行います
- ③介護認定審査会での審査判定のマニュアルを作り、委員の研修を行います
- ④全国の市町村で、ばらつきがないよう情報を広く共有します

国土調査に功績

七月十二日、国土調査事業の重要性を認識、長年同事業にたずさわったとして荘野洋一さん（下小路）が社団法人全国国土調査協会から表彰を受けました。荘野さんは「今後もがんばっていききたい」と話していました。



▲表彰を受けた荘野さん

増えています！結核の集団感染

結核予防週間
九月二十四日（三十日）

かつて「国民病」として全国に蔓延し、恐れられた結核が、高齢者を中心に再び増え始めています。昨年一九九八年には、結核の集団感染が一年間で四十一件発生しました。

厚生省によると、九四年、九五年にそれぞれ十一件だった集団感染は、九六年に二十一件、九七年には二十九件と増加を続け、九八年は九五年の約四倍にのぼっています。

今年もすでに、中学校や病院などでの大規模な集団感染が次々と報告され、厚生省は「結核緊急事態宣言」を発表して医療関係者や一般の人々に注意を呼びかけています。

集団感染が急増した背景には、昭和一〇～二〇年代の結核蔓延が考えられます。このとき結核に感染した人々が、現在高齢となつて体力が衰えたり抵抗力が弱まったりして結核を再発させ、未感染の若い世代などに感染させてしまつたのです。高齢者施設などでもお年寄りの集団感染が起きています。

結核菌は結核患者のせきやくしゃみに乗って周囲に飛び、それが別の人の肺に吸い込まれて感染します。菌が人の肺に入ってもほとんどの場合免疫病しませんが、健康状態が悪いと菌が活動を始めます。結核菌に感染し、防御に失敗して発病すると、初期のうちはカゼに似た痰、微熱、寝汗、だるさ等々の症状が出ます。二週間以上せきが続く場合は結核を疑い、病院で診察を受けるようにしてください。

今は三～四種類の抗結核薬で短期間（六～九カ月）に治します。しかし、放っておいて重症になれば、やはり治療は困難となり、体力のある若い人でも死ぬことがあるのです。

続・畜魂

～つれづれの記

第4話「畜産共進会二題」

鈴木龍太郎・文絵
伊藤雪路・絵

一、団体総合優勝

「秋田しんせい農協」の誕生により由利地域の畜産共進会の正式名称は「秋田しんせい農協畜産共進会」となったが、畜産関係者の間では前々からの「郡共」

（由利郡畜産共進会）という言葉が親しまれ使用されている。

郡共は市町村より選抜された家畜が本荘市に集まり、その優秀さを競うもので昔は豚も出場していたが今は牛だけに なって しまった。

今年七月に開催され東由利では畜産農家の皆さんや阿部町長さん、町議会議員、農業委員、農協関係の方々の応援のもと、小野長兵衛氏（巾野）、高沢忠氏（葦沢）、莊野高光氏（五海保）の牛がそれぞれの部門で優等になり、他の人々の牛たちも健闘し入賞していた。

郡共では各部門に分けられるがそのひとつに「団体総合」という市町村間で優勝旗をかけて争う部門がある。その得点は牛たちの優劣はもちろんであるが、他にもいろいろ条件があるため最後まで油断出来ず、各役場の担当者はやきもきさせられる。

東由利でも代々の産業課長さ

んや畜産担当者は郡共のたびに気をもんでいたようだ。

三年位前に東由利のいつも明るく活発な産業課長が出場牛の審査結果が発表されるたびに電卓をたたき、その数字を書き入れたノートを見つめて独り言を言いながら思案し一喜一憂していたが、団体優勝が東由利に確定したとき、嬉しそうに周囲の人々に語りかけていた笑顔を今でも思いだす。

ちなみに東由利では十二年位前より他町村と抜きつ抜かれつ優勝旗の争奪を繰り返してきたが、平成八年より今年迄四年間連続して優勝旗を持ち帰っている。

二、「きょう」違い

平成八年といえは東由利の「湯楽里」がオープンした翌年であり、世界では英国の「狂牛病」が騒がれた年である。

その八年の町畜産共進会が終わって間もなかったからたぶん六月だったろう、ある日の夕方秋田市で久しぶりの悪友四人が集まり会食した。悪友連は商店経営者や会社員などで農業のことなど殆ど分からない連中である。

たわいのない雑談をしていると、一人が「湯楽里」のことを聞いてきた。私は待つてました、よくぞ聞いて下さったとばかりに、その素晴らしさをちよっと輪をかけて教えているうちに、調子にのって東由利の自慢をし、ついによせばいいのに牛のこ

とを啓蒙してやろうと畜産共進会の話をした。

ところが始めは「うん」「成程」などと頷いていた連中がときどき不思議そうな顔をするようになった。こちらもなんとなくおかしい雰囲気になったと気がなった途端、悪友「鈴木、牛と地理とはどんな関係があるんだ」と全く不可解な質問が飛び出した。

私「何のことだ。俺は地理の話などしてない」

悪友「しかしお前はさつきから何回も、ゲンキョウ、ケンキョウと言っているではないか・・・」

私「・・・」



よく聞いてみるとなんのことはない。私が「郡共」（由利郡畜産共進会）、「県共」（秋田県畜産共進会）と言った言葉を連中は「郡境」「県境」と解釈していたから意味が通じないのはあたりまえで通じればおかしい。

誤解が解けて大笑いになり悪友連に「お前のキョウは狂牛病の狂だ」と揶揄されたが、その日の私の運勢はきつと「凶」だったに違いない。

それにつけても日本語はむずかしい。

林業だより

サクラの管理

黄桜の里東由利に因んで植えてきたサクラには、次のような病虫害があります。

まず、春から秋にかけて葉を食害するケムシ類や葉の裏につくアブラムシ、枝につくカイガラムシなどで、発生初期にスミチオン、エルサンなどを散布して駆除します。枝幹に穴をあけるコスカシバは、褐色の樹脂や糞が出る特徴があり、この傷口から胴枯性菌が入り木を枯らすともいわれています、スミチオンを散布しますが完全駆除は困難です。

病害は、ソメイヨシノに多いてんぐす病で、冬場に病枝を切り取ります。胴枯性や材腐朽などの菌による病害は、枝幹の切り口から入り易いので、枝を切った切り口に殺菌癒合剤を散布して予防します。根に着く根頭がんしゅ病は、発生すれば根絶は困難です。

サクラを病虫害から守るには、サクラの根元に病虫害の発生源となる雑草を生えさせない事と肥培による樹勢保持に努める事、早期発生、早期防除など日頃の管理が大切です。

（町林業懇話会会長 佐藤恒悦氏）

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
去勢	32	300kg	410,156	1,300
雌	17	275kg	303,326	1,043
合計	49	292kg	373,093	1,201

●最高金額 去勢 598,500 北国7の8 福谷1 益美
●最高金額 雌 652,050 北国7の8 高栄 益美

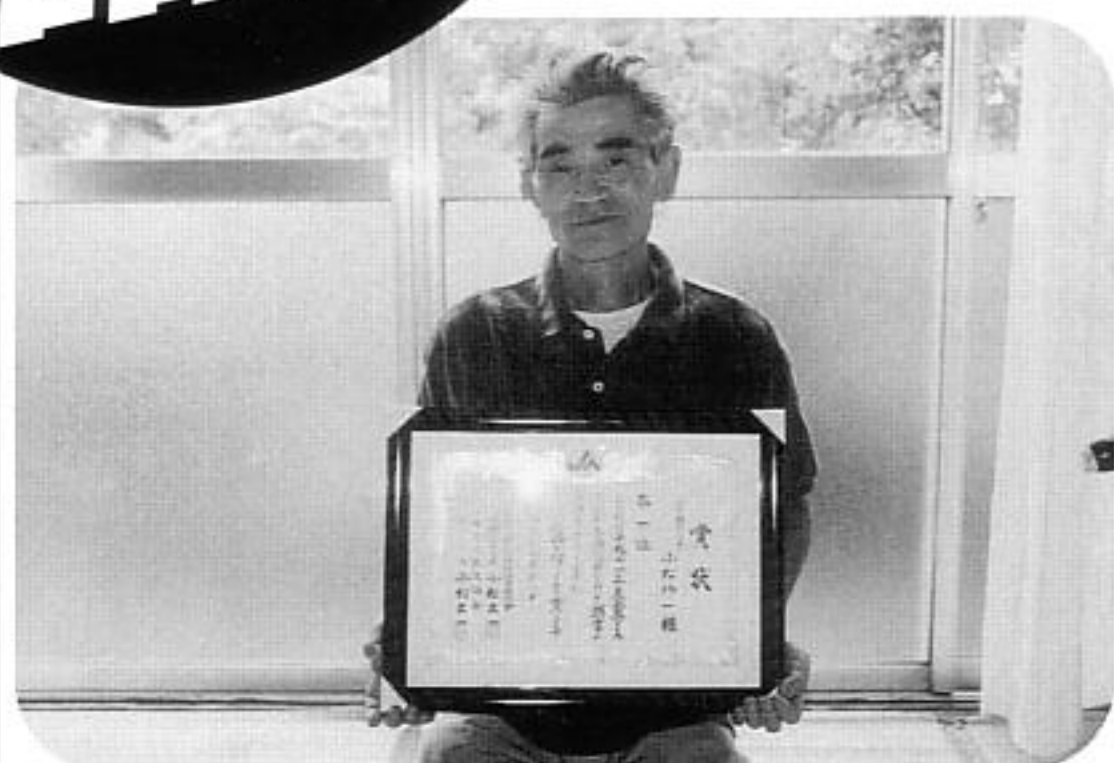
八月家畜市場

径級	単価（石）	備考
直材30cm上	5,200円	
24~28cm	5,200円	
14~22cm	5,200円	
13cm下	2,700円	
曲り材	2,000~2,800円	

全県的に国有林を始め、原木の出材が見込めるようになったことで、14~22cmを中心に単価は全体的に弱含み。完全にピークは過ぎた感があり、製品市況に準じたラインに戻るのには必至。

木材共販市況

（平成十一年八月・平均価格）
四五年生から五五年生



▲喜びの小松さん

七月二十七日、県JAビルで米穀自主鑑定会が行われ、各地区代表五十七名の中から本町代表小松修一さん（寺田）が優勝しました。鑑定会は米の品質向上と保管管理の重要性を認識、秋田米の声価高揚を図ることを目的に七四年から毎年開催しているもので、今回が二十六回目です。鑑定会は一入三十分の持ち時間の間に水稲、うるち玄米四十点の等級、品質などの判定を行い四百点満点の減点法で採点するもの。小松さんは満点で全県優勝したものです。

米穀自主鑑定会

米の品質鑑定で全県優勝



▲阿部町長を中心に会議がもたれた

八月十二日、役場第二庁舎二階において、東由利町異常気象対策会議が開催され関係者十余名が出席しました。この会議は気象観測史上、二を争う暑さの中、農業関係についていかに対処するかJA、役場産業課などが話し合いをしたものです。会では、渇水による被害対策、およびカメムシの異常発生に対する対策が話し合われました。自然が相手の農業では天候の良し悪しが収穫量や質にかかわるだけに、真剣に対応方法などが提案されていました。

町異常気象対策会議

異常気象への対処話し合う



▲館合鹿島神社祭典（8/18～19）



▲新町鹿島神社祭典（8/18～19）写真：高橋鈴子さん

東由利の夏さまざま



▲皆ががんばった鳥海山探索活動 写真：東中

七月二十五日、東由利中の全校生徒が鳥海山探索活動を行いました。当日はあいにくの曇り空、しかも濃霧と強風という悪天候でしたが、頂上登山隊百五十余名、自然探索隊八十余名がそれぞれの体調に合わせて鳥海山を楽しんでいました。この鳥海山体験、今年三十周年をむかえる同中記念事業のひとつとして行われたものです。登山隊の指導者の皆さんは口々に「登山マナーなど素晴しかった。この体験が今後生きの指針になれば」と話していました。

東中生徒鳥海山探索活動

意義深かった鳥海登山体験

町のあっち、こっちから

一進一退の競技を展開

スポーツ祭・ゲートボール

八月二十二日、町民グラウンド等で町スポーツ祭（ゲートボール）が行われ、三十自治会、五十二チームがゲートボール競技に興じました。

開会式では阿部幸悦大会会長が選手各位を激励。梅津栄一副議長などによる始球式が行われた後、競技が開始されました。

午前中の予選では一年に一度のこの大会にむけて練習を重ねてきただけに、どのチームの選手もプロはだしの実力。途中雨が降るなどのアクシデントがあったものの、一進一退の緊迫したゲームを展開しました。

午後からの決勝トーナメントは、

雨のためにげんき館で行われましたが、決勝リーグに残ったどのチームも最後まで勝負をあきらめない気迫で競技に取り組んでいました。

なお、成績結果は次のとおり

●優勝／石高A ●第二位／下通C
●第三位／上通A ●第四位／横小路



▲今年の優勝チームは石高Aチーム



▲参加者全員がハッスル、競技に取り組んだ



▲おしくも準優勝下通Cチーム



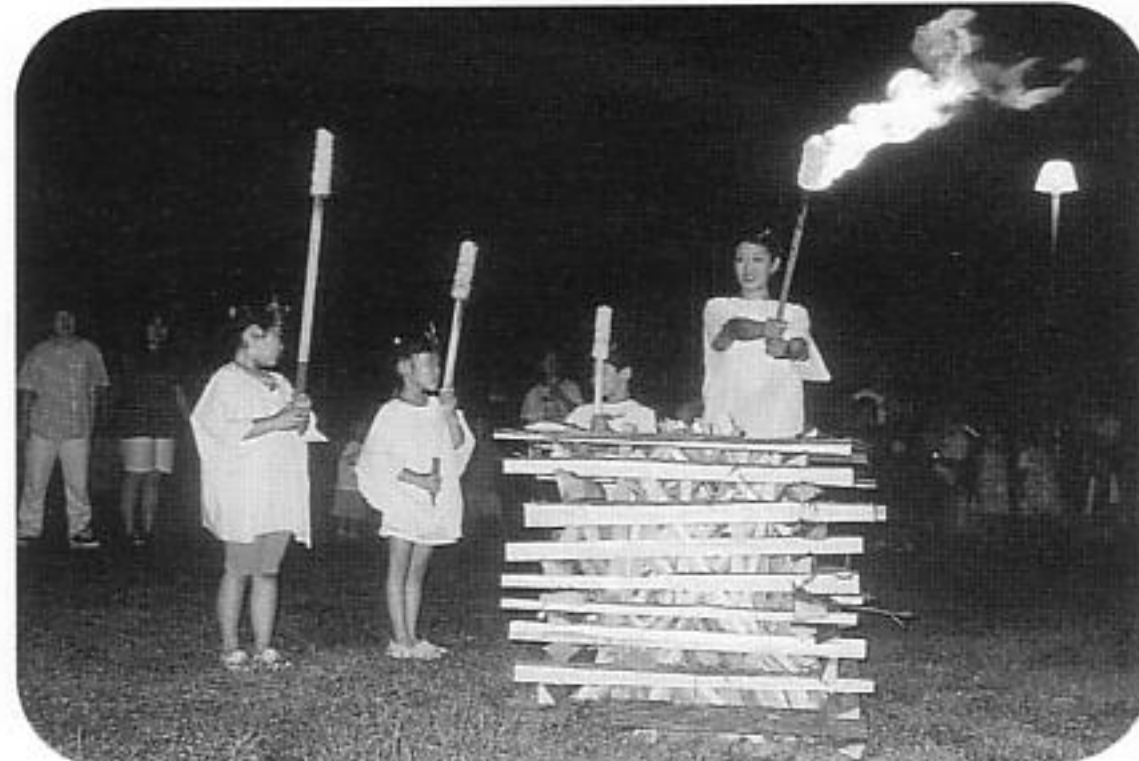
▲住吉地区盆踊り（8/14）写真：住吉地区夏まつり実行委員会



▲大琴夏まつり（8/14）写真：佐々木長円さん



▲ボツメキ水源池にて（8/16）



▲みどり保育園まつり（7/30）写真：みどり保育園

東由利文化クラブ

虫歯
なんてないも〜ん。

1歳半児健診
()内は保護者

三浦直也くん

田代(雅弘さん)



鎌田将輝くん

黒瀬(敏さん)



佐々木友美ちゃん

大夢(良一さん)



佐々木泉美ちゃん

大夢(良一さん)



小松正美ちゃん

田代(正行さん)



嶽石聖光くん

八日町(嘉規さん)



渡辺絵美里ちゃん

館合新田(要さん)



高橋望美ちゃん

杉森(忠広さん)



太田聖也くん

蔵(久隆さん)



齊藤颯人くん

新町(一さん)



石綿莉沙ちゃん

横渡(工さん)



木島健吾くん

大台(省吾さん)



千葉勇平くん

黒沢(康悦さん)



志村大成くん

新町(宗篤さん)



東由利の文芸

(せせらぎ句会)

おぼつかぬ技能教習花あやめ
宵祭り旧家の大き紋所
霊山の声となりたる蝉しぐれ
朝採りの野菜完売青田風
駆けこんでほつと一息軒すだれ
琴の音の涼しく流る旅の宿
梅雨明けのかたき衰着の道祖神
会釈する土工の手旗油照り
大漁旗壁に掲げて洗鯛

秋田市 嵯峨 義之
湯出野 佐藤 正義
横渡 高橋ヒデ子
上通 小野石路子
時雨山 吉川 葉子
久保 小松 良子
下小路 小松 メサ
五海保 嶽石 レイ
家ノ下 小松 正昭

湯出野 小松 徳蔵
阿部 澄子
小倉 遠藤トミ子
船木 大庭嘉右衛門
蔵新田 小笠原亮子
久保 高橋 典三
横小路 宮野源二郎
蔵新田 小笠原トミ
舟打場 高橋民治郎
中通 小松順之助
蔵新田 小野 貞子
高戸屋 小松 敏雄
横小路 小松 丈介



▲3年連続5度目の優勝を飾ったポパイスポーツチーム

アイドルをさがせ!



遠藤千愛美ちゃん(館西)
(1歳8カ月)
お父さん:哲也さん
お母さん:千代子さん
お話し:千代子さん

▼名前の由来は「誰からも愛される心の美しい人になるようにとお父さんがつけました」
▼好きなもの、きらいなものは「犬(ワンワン)〜家の犬のリンが好き。嫌いなものは特にありません」
▼誰になついていますか「(一応)父と母の両方です」
▼将来はどんな人になつてほしいです「感謝することを忘れない優しい人」
▼最近のエピソードは「三月に弟が産まれてから、すっかりお姉さんらしくなりました。弟の峻也が泣くとなだめたり、お腹がすくとミルクを飲ませたり、二人で赤ちゃん語でお話したり...。いつまでも二人仲良くね!」

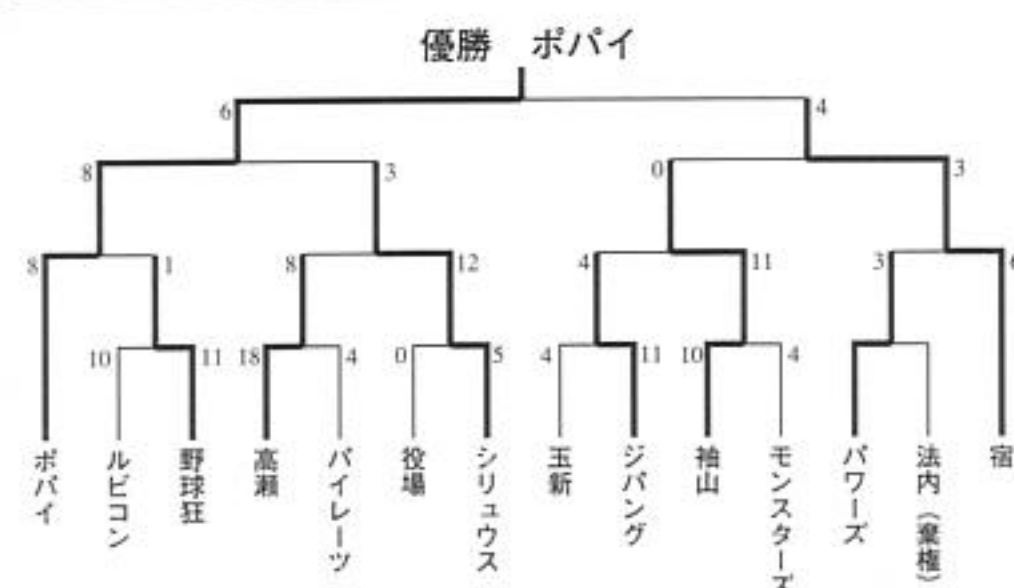
第四十一回東由利町社会人野球大会が八月十五日、十六日の両日勤労者野球場、町民グラウンドで行われ、十三チームが炎天下の中、熱戦を繰り広げました。

この大会は、お盆に若人たちが一堂に介し、野球を通じ交流を深めようといわれているもの。

決勝ではポパイスポーツチームと宿チームが対戦、六対四でポパイスポーツチームが三年連続五度目の優勝を飾りました。

個人賞は最優秀選手賞・島山伸(ポパイ)／敢闘賞・佐藤大樹(宿)／特別賞・小野智行(宿)

第41回社会人野球大会結果



▲熱戦を展開した社会人野球大会

ハイム・ムーン

サマーショート

ボランティアを振り返って

本庄高校下郷分校三年

小松 純さん



高校に入学してから毎年夏休みには参加していた「サマーショートボランティア」も、今回が最後になりました。三回とも東光苑で活動させていただきましたが、二回目からは入居者の方々に会えるのが楽しみで、今回が最後かと思うととても残念でなりません。

一年の時は車椅子を押して散歩に出かけたのを覚えています。中と違って外はでこぼこ道もあり、車椅子を動かすのに随分苦労した記憶があります。

二年の時はディサービスセンターへも行きました。毎日違う人が来所されるので名前を覚えるのがとても大変でしたが、そこでの仕事もやりがいのあることばかりだと思いました。

そして今回は食事介助や移動介助を中心にやりました。入居者の方が自分で出来ることなのか、それともそうでないことなのかを見分けるのがとても難しいと思いました。

この三年間、たくさんの方の反省もありですが、自分自身が以前よりも積極的になることができてよかったと思っています。

また、職員の方々には忙しいところいろいろと教えていただきしました。ありがとうございました。

ふるさと むかひむかひ

二七

八人塚

昔、戦乱の時代、日向の国(今の宮崎県)延岡城主堀内和泉守は、戦いに敗れ諸国遍歴の末、雄勝郡羽後町に土着したのでした。

その地を堀内と名づけ、自分の生まれ育った日向の名をとって大日向姓を名のり、武士をすてて土地を耕し、百姓のくらしをしていました。

百姓の合い間に土地の人々に読み書きを教えたりして、みんなにしたわれ、平穏な毎日を送っていた或る日のこと、戦いに敗れ一族四散の中に、お家再興を願う八人の家来が、遠いみちのくの羽後の国に主君の土着を知り、苦勞に苦

勞をかさね、尋ねてきたのでした。主君と再会した八人の家来は、口々に再び弓矢を手にし戦うようにと唱えるのでしたが、主君は「人と人とのあらい合う戦いはもうたくさんだ」と戦いのむなしさ、平和の大事さを説き聞かせ、日向には帰ろうとはしませんでした。家来たちの嘆き、悲しみはたえようもありませんでした。主君を思う八人の家来は、別れを惜しみ何度も振り返り、振り返り堀内の里をあとにしました。

古い頃から大事な道路として、多くの旅人が歩いたといわれるアンドン道の小高い丘の上まできた家来たちは、思いあまって切腹をし、若い命をたてしまったのでした。

主君は、この悲しい報せをうけ、下男を先立ちに、はだか馬にむち打って駆けつけたときは、八人の家来の息はもうたえていました。

主君は、これほど自分をお家の立て直しを思っていたのだからと嘆き、くやしさをどうすることもできないので

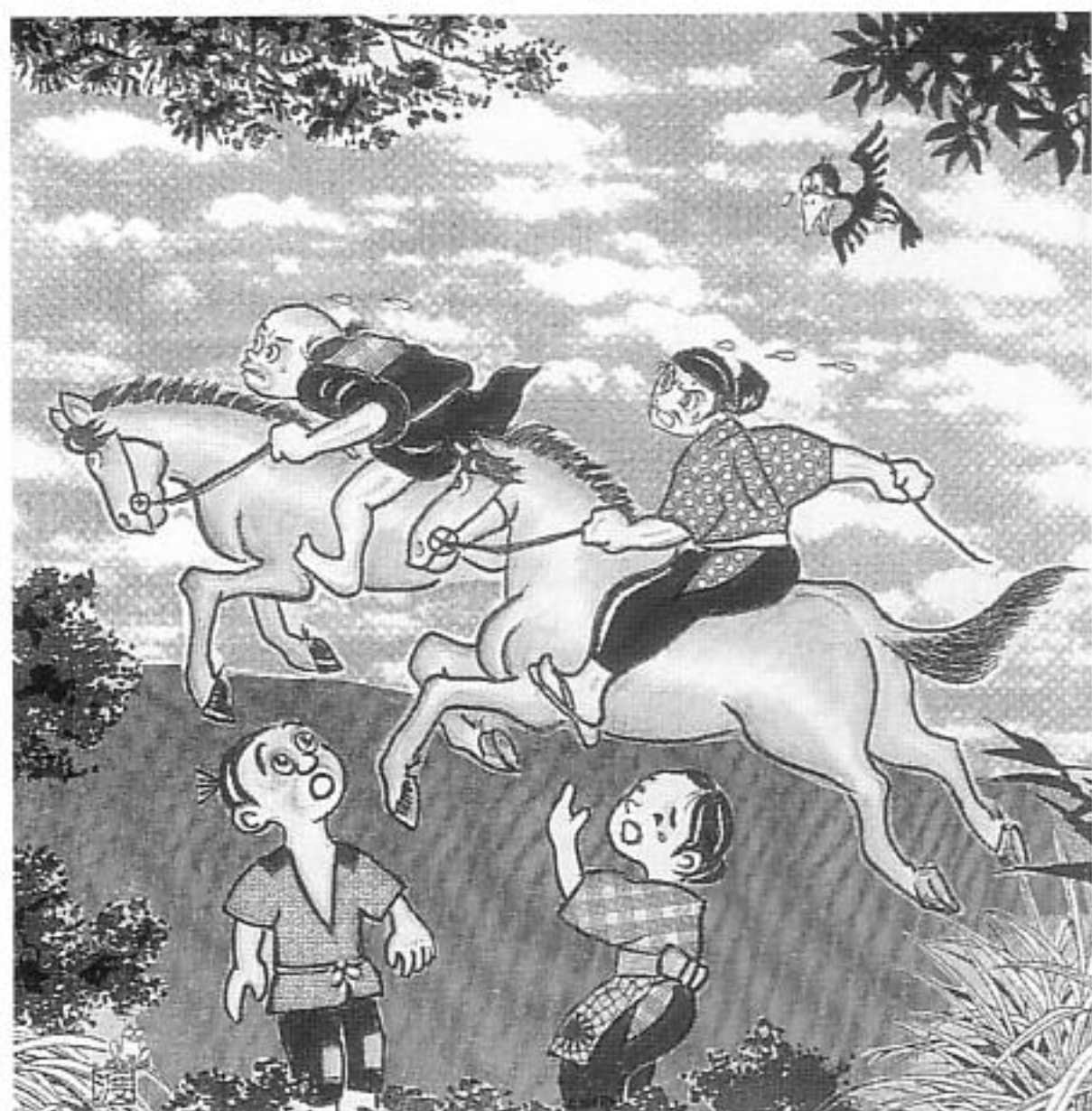
した。そして、その忠節の心情を哀れみ、塚を築き八人の霊をとむらいました。

五月五日、石碑の建てられている場所に、雄勝・由利の大日向一族は毎年集まり「八人塚まつり」として、主家のめい福をお祈りし、一族の繁栄と古い由緒ある絆で結ばれた結束を誓い合いながら、和やかな親睦の宴がひろがるのとこのです。

小さな石碑には文政五年建立とありますから、かなり古くから行われていたようです。

板戸部落から北東に入った郡境の雑木林の中にあるアンドン道に、苔むした石碑がひっそりたたずんでいました。

(文と絵 石渡力造氏)





郷土の野草

東由利

NO.175

キンエノコロ
(イネ科)

文・写真 小松忠正氏

日本全土、路傍、原野など、どこに行っても見られる一年草で、草丈は二十から七十センチくらい、エノコログサよりはやや小形です。葉は線状で長さ三十センチ内外、先端は尖ります。夏に茎の上部に円柱形の花穂をたて十センチくらいの多くの花をつけます。和名は花穂が金色に見えることにより「金」です。エノコロは「狗の子草」のことをいい、この草を子犬の前で動かすとコロコロとじゃれることからいいます。この草が穂をつけると秋の訪れを身近に感じさせられます。

9月▶データ東由利

〈7/1〜/31〉

住民基本台帳人口 () は前月比

- 男……………2,515人 (−5)
- 女……………2,651人 (−1)
- 計……………5,166人 (−6)
- 世帯数………1,388戸 (+1)

() は1月からの累計

- ・出生2人(18)・死亡4人(46)
- ・転入6人(48)・転出10人(85)

- 火災出動……………1件 (5)
- 救急出動……………5件 (83)
- 交通事故……………1件 (4)
- ・死亡……………0人 (0)
- ・傷者……………1人 (2)
- 飲酒運転……………0人 (1)
- 酒気帯び……………0人 (0)

9月の行事予定

- 4〜5 県畜産共進会 (河辺町)
- 7 人権相談 (朋楽荘)
- 10 合同金婚式 (有鄰館)
- 13 議会定例会初日
- 15 敬老の日
- 20 全県野焼きを楽しむつどい (八塩いこいの森)
- 23 秋分の日

■湯楽里の休館日は

20日 (月)、21日 (火) です。



冠水した電気器具の使用にはご注意ください
財東北電気保安協会



ほっとひといき

今年の夏は暑かったですね。暑さが人一倍苦手な広報担当は辛い日々をおくっていました。皆さんはどう過ごされたでしょうか。

私の場合、日中は仕事をがんばって、自分の趣味 (読書や音楽鑑賞、パソコンなど) は少しでも涼しい深夜にやることが多かったため、毎日睡眠不足気味。でも自分が好きなことをやっていたので充実した夏でもありました。

夏が過ぎればいよいよ過ごしやすいく秋になります。夜長をどう過ごすか今から楽しみです。(さ)

まごころ

社会福祉協議会に下郷中八期卒業生、小野幸治さん (須郷田) 宿一区少年会から芳志が届けられました。また、広報送付謝礼として佐藤一芳さん (本荘市在住) 工藤定蔵さん (蒲郡市在住) から金一封が届けられました。

振興券の使い忘れは?

使用期限は9月9日までです。未使用の券がある方は早くお使い下さい。(企画課)

振興券の使用は9月9日まで
九月十日以降は使用できませんので、使い忘れがないよう
九月十日以前に使用して下さい

大琴の大わらじ

大琴小学校脇の太平山碑にメートルにもおよぶ大わらじが奉納されました。製作者は工藤太一さん (大琴)。毎年大琴で行われている太平山の祭を盛り上げようと二十年ぶりに作ったとのこと。

太平山碑の由来等について梅津嘉一郎さん (大琴) に解説していただきました。

「下郷大琴村の農民惣十郎性朴なる人、秋田の太平山三吉大明



▶大わらじと製作者の工藤さん

神を日頃から信心していた。文政七年に夢枕で山の上の神様に信仰を怠ることなかれと懲らされ眼がさめた。夢に出た山が本家の裏山にそっくりなので、ここが神慮にかなう処と信じ社を造った。その霊験あらたかで、この話が日々広まり近辺はもろろ諸国よりも参拝者が群をなし惣十郎は別当となつて富を得た。俗称大台の善兵衛坂の下から峯傳いに参道があり、頂上付近の台地 (神社の跡) に現在小さな太平山碑が建っている。(願主梅津精太郎大琴若者講中と記してある) 年代は定かでないが野火のため焼失したと聞く。大琴若者講中で焼失後に御嶽神社の裏イチョウの木の下に太平山の碑を建て、八月二十一日に若者講中でシメ縄また大きな藁じを作り奉納、毎年豊作を祈りお祭りを行ってきた。現在も細々とお祭りを続けている」